



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成24年11月2日
上場取引所 東

上場会社名 アオイ電子
コード番号 6832 URL <http://www.aoi-electronics.co.jp/>
代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 中山 康治
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 木下 和洋 TEL 087-882-1131
四半期報告書提出予定日 平成24年11月12日 配当支払開始予定日 平成24年12月6日
四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績（平成24年4月1日～平成24年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	14,605	2.9	1,733	42.3	1,793	46.7	858	27.8
24年3月期第2四半期	14,199	5.1	1,218	11.2	1,222	10.6	672	8.6

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 808百万円 (42.5%) 24年3月期第2四半期 567百万円 (0.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	71.57	—
24年3月期第2四半期	56.02	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第2四半期	37,414	27,910	74.6	2,325.90
24年3月期	36,296	27,221	75.0	2,268.49

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 27,910百万円 24年3月期 27,221百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
25年3月期	—	14.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	10.00	24.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	27,505	5.4	1,993	70.9	2,020	△7.0	1,017	△6.7	84.75

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無

② ①以外の会計方針の変更： 有

③ 会計上の見積りの変更： 無

④ 修正再表示： 無

詳細は、2 ページの「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項」をご覧ください

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

25年3月期2Q	12,000,000株	24年3月期	12,000,000株
25年3月期2Q	314株	24年3月期	314株
25年3月期2Q	11,999,686株	24年3月期2Q	11,999,686株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を実施しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績等の予測数値につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて算定しておりますが、たぶんに不確定な要素を含んでおります。従いまして、実際の業績等は、業況等の変化などにより、この資料に記載されている予想と大きく異なる場合がありますことをご承知おきください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	2
3. 四半期連結財務諸表	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(6) セグメント情報等	8
(7) 重要な後発事象	8
4. 補足情報	9
生産、受注および販売の状況	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災からの復興需要等を背景に景気はゆるやかな回復基調との見方があったものの、夏場の電力の安定供給の懸念や海外経済の減速、欧州債務問題の長期化に加え、円高が続いたこと等から、依然として厳しい状況で推移いたしました。

当社グループの属する電子部品業界におきましては、大手の電気機器メーカー・部品メーカーにおける事業再編の動きや、生産拠点の海外シフトが加速するなど不安定な動きのなかで、産業機器やPC関連、液晶テレビなどにおいては需要低迷が続き、全般的には低調な推移となりました。一方で、多機能携帯端末（スマートフォン、タブレット）や自動車関連部品など需要の高い製品群においては、生産活動に上昇が見られました。

このような情勢のなかで、当社グループの当第2四半期連結累計期間の連結売上高は14,605百万円（前年同期比406百万円増、2.9%増）、営業利益は1,733百万円（前年同期比515百万円増、42.3%増）、経常利益は1,793百万円（前年同期比570百万円増、46.7%増）、四半期純利益は858百万円（前年同期比186百万円増、27.8%増）となりました。

当社グループの製品の種類別区分ごとの業績であります。集積回路は、多機能携帯端末向け部品の受注が堅調に推移したことにより、売上高は12,512百万円（前年同期比551百万円増、4.6%増）となりました。機能部品は、特定用途向けセンサーの受注が堅調に推移したものの、サーマルプリントヘッドの受注が伸び悩んだため、売上高は1,470百万円（前年同期比199百万円減、11.9%減）となりました。受動部品につきましては、チップネットワーク抵抗器の受注が堅調に推移したため、売上高は540百万円（前年同期比20百万円増、3.9%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の資産の部につきましては、売上債権など流動資産の増加により37,414百万円（前連結会計年度末比1,117百万円増）となりました。負債の部につきましては、仕入債務など流動負債の増加により9,504百万円（前連結会計年度末比428百万円増）となりました。これらの結果、純資産の部は27,910百万円（前連結会計年度末比688百万円増）、自己資本比率は74.6%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の業績予想につきましては、現時点では、平成24年5月11日の決算短信で発表しました業績予想から変更はございません。

なお、平成24年10月12日に公表いたしました「株式会社ルネサスハイコンポーネンツの株式の取得（子会社化）および株式会社ルネサス東日本セミコンダクタの事業の一部譲受けに関するお知らせ」に伴い、今後、当社の連結業績に重大な影響を与えることが明らかとなり次第、速やかにお知らせいたします。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（作業屑売却益の会計処理に関する表示方法の変更）

作業屑売却益は、従来、営業外収益に計上しておりましたが、今後、貴金属価格の高騰や生産量の増加に伴い作業屑売却益の増加が見込まれること等により、作業屑売却益を製品の種類別区分ごとに把握して予算管理を実施する体制を構築したことを機に、第1四半期連結会計期間より売上高に計上する方法に変更しました。

また、この変更に伴い、作業屑売却益に係る債権は、未収入金に計上する方法から売掛金に計上する方法に変更しました。

この表示方法の変更を反映させるため、前年四半期の四半期連結財務諸表および前連結会計年度の連結財務諸表を組替えております。

この結果、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動資産」の「その他」に表示していた「未収入金」12,895千円は、「受取手形及び売掛金」として組替えており、また、前第2四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書において、「営業外収益」に表示していた「作業屑売却益」84,729千円は、「売上高」として組替えております。

なお、上記の表示方法の変更にあわせて、前第2四半期連結累計期間の四半期連結キャッシュ・フロー計算書の「売上債権の増減額」△637,145千円と「その他の資産の増減額」297,946千円は、「売上債権の増減額」△635,477千円と「その他の資産の増減額」296,278千円に組替えております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,111,146	13,191,135
受取手形及び売掛金	7,090,348	8,161,440
商品及び製品	26,980	36,144
仕掛品	432,606	498,428
原材料及び貯蔵品	830,491	862,196
前払費用	36,568	57,733
繰延税金資産	281,023	302,725
その他	436,229	108,936
流動資産合計	21,245,394	23,218,740
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	12,768,826	12,842,478
減価償却累計額及び減損損失累計額	△6,750,194	△7,106,426
建物及び構築物(純額)	6,018,631	5,736,052
機械装置及び運搬具	23,941,369	23,452,430
減価償却累計額及び減損損失累計額	△21,905,386	△21,746,409
機械装置及び運搬具(純額)	2,035,982	1,706,020
工具、器具及び備品	4,849,453	4,389,070
減価償却累計額及び減損損失累計額	△4,565,826	△4,125,364
工具、器具及び備品(純額)	283,626	263,706
土地	2,926,463	2,926,463
リース資産	299,707	292,661
減価償却累計額及び減損損失累計額	△120,290	△141,605
リース資産(純額)	179,417	151,055
建設仮勘定	109,035	196,151
有形固定資産合計	11,553,156	10,979,449
無形固定資産		
のれん	56,353	51,657
その他	99,459	90,341
無形固定資産合計	155,812	141,998
投資その他の資産		
投資有価証券	2,078,587	2,014,816
前払年金費用	439,757	382,133
繰延税金資産	380,343	213,927
その他	443,354	463,161
投資その他の資産合計	3,342,043	3,074,039
固定資産合計	15,051,012	14,195,488
資産合計	36,296,406	37,414,228

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,846,330	3,834,131
短期借入金	1,190,000	1,190,000
1年内返済予定の長期借入金	644,400	611,200
リース債務	55,816	49,620
未払金	1,110,656	1,255,502
未払法人税等	488,063	633,368
賞与引当金	434,483	472,967
その他	1,158,036	621,099
流動負債合計	7,927,786	8,667,889
固定負債		
社債	300,000	300,000
長期借入金	289,000	—
リース債務	123,600	101,435
役員退職慰労引当金	433,608	433,608
その他	1,218	1,218
固定負債合計	1,147,428	836,262
負債合計	9,075,215	9,504,152
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,545,500	4,545,500
資本剰余金	5,790,950	5,790,950
利益剰余金	16,929,779	17,668,589
自己株式	△442	△442
株主資本合計	27,265,786	28,004,596
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△44,595	△94,519
その他の包括利益累計額合計	△44,595	△94,519
純資産合計	27,221,191	27,910,076
負債純資産合計	36,296,406	37,414,228

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	14,199,311	14,605,999
売上原価	11,700,172	11,541,704
売上総利益	2,499,139	3,064,295
販売費及び一般管理費	1,281,075	1,330,664
営業利益	1,218,063	1,733,630
営業外収益		
受取利息	586	595
受取配当金	2,228	2,048
受取技術料	84,729	81,074
持分法による投資利益	20,247	53,177
その他	29,214	46,976
営業外収益合計	137,006	183,872
営業外費用		
支払利息	16,919	14,143
為替差損	96,822	84,230
その他	18,744	26,126
営業外費用合計	132,485	124,500
経常利益	1,222,583	1,793,002
特別利益		
固定資産売却益	331	1,005
特別利益合計	331	1,005
特別損失		
固定資産除却損	2,539	145,144
投資有価証券評価損	26,251	9,091
特別損失合計	28,791	154,235
税金等調整前四半期純利益	1,194,124	1,639,772
法人税、住民税及び事業税	568,712	608,919
法人税等調整額	△46,803	172,047
法人税等合計	521,909	780,966
少数株主損益調整前四半期純利益	672,214	858,806
四半期純利益	672,214	858,806

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	672,214	858,806
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△104,688	△49,924
その他の包括利益合計	△104,688	△49,924
四半期包括利益	567,525	808,882
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	567,525	808,882
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,194,124	1,639,772
減価償却費	1,106,714	909,878
その他の償却額	24,160	26,645
のれん償却額	4,696	4,696
固定資産除却損	2,539	145,144
固定資産売却損益(△は益)	△331	△1,005
賞与引当金の増減額(△は減少)	34,351	38,484
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△3,159	—
受取利息及び受取配当金	△2,815	△2,644
支払利息	16,919	14,143
為替差損益(△は益)	95,965	31,886
保険解約損益(△は益)	3,758	—
投資有価証券評価損益(△は益)	26,251	9,091
持分法による投資損益(△は益)	△20,247	△53,177
売上債権の増減額(△は増加)	△635,477	△1,071,091
たな卸資産の増減額(△は増加)	△64,252	△106,690
その他の資産の増減額(△は増加)	296,278	422,798
仕入債務の増減額(△は減少)	530,387	987,801
その他の負債の増減額(△は減少)	△103,198	△136,728
小計	2,506,664	2,859,002
利息及び配当金の受取額	2,394	2,223
利息の支払額	△16,812	△14,067
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△873,498	△464,852
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,618,748	2,382,305
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△596,355	△796,462
有形固定資産の除却による支出	—	△5,670
有形固定資産の売却による収入	555	1,870
無形固定資産の取得による支出	△10,062	△5,636
保険積立金の解約による収入	37,323	—
差入保証金の回収による収入	452	—
その他の支出	△20,260	△22,335
投資活動によるキャッシュ・フロー	△588,347	△828,233
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	1,320,000	1,320,000
短期借入金の返済による支出	△1,320,000	△1,320,000
長期借入金の返済による支出	△345,572	△322,200
自己株式の取得による支出	△16	—
配当金の支払額	△119,996	△119,996
財務活動によるキャッシュ・フロー	△465,585	△442,196
現金及び現金同等物に係る換算差額	△95,965	△31,886
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	468,850	1,079,988
現金及び現金同等物の期首残高	9,551,904	12,111,146
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,020,754	13,191,135

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

当社グループは、電気・電子部品事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(7) 重要な後発事象

当社は、平成24年10月12日開催の取締役会において、株式会社ルネサスハイコンポーネツの株式を取得（子会社化）すること、および株式会社ルネサス東日本セミコンダクタの事業の一部を譲受ける契約を締結することを決議し、同契約を締結いたしました。

1. 株式の取得（子会社化）

① 株式取得の相手先の名称

名 称：株式会社ルネサス東日本セミコンダクタ

② 株式取得する会社の名称

名 称：株式会社ルネサスハイコンポーネツ（株式取得後の名称未定）

③ 株式取得（子会社化）の目的

株式会社ルネサスハイコンポーネツは半導体の後工程に特化した製造会社であり、当社と同一の事業分野に属します。当社の事業に同社のもつ製品群を加えることで事業規模を拡充するとともに、生産体制の効率化を図ること、両社の技術力を融合することで製品開発のスピードアップと質的向上を図り将来の業容拡大につなげること、大規模な自然災害時のバックアップ拠点を確保することを目的としております。

④ 取得する株式数および取得後の持分比率

180,000株（100%）

⑤ 支払資金の調達および決済方法

自己資金により、現金決済を予定しております。

⑥ 株式取得日

平成25年1月1日

2. 事業の譲受け

① 事業の譲受け先の名称

名 称：株式会社ルネサス東日本セミコンダクタ

② 事業の譲受けの目的

株式会社ルネサス東日本セミコンダクタから株式会社ルネサスハイコンポーネツの株式を取得（子会社化）することに伴い、株式会社ルネサスハイコンポーネツの受託生産事業に関わる株式会社ルネサス東日本セミコンダクタの営業事業を譲受けることについて合意したものです。

③ 譲受ける事業内容

株式会社ルネサスハイコンポーネツ受託生産事業に関わる営業人員を含む営業事業

④ 譲受ける資産・負債の項目

譲受け資産は同事業に関わる棚卸資産を予定しております。なお、負債の譲受けはありません。

⑤ 事業譲受け期日

平成25年1月1日

4. 補足情報

生産、受注および販売の状況

当社グループは、電気・電子部品事業の単一セグメントであるため、生産、受注および販売の状況については製品の種類別区分ごとに記載しております。

(1) 生産実績

製品の種類別区分	金額（千円）	前年同期比（％）
集積回路	12,765,717	107.5
機能部品	1,566,863	95.2
受動部品	522,518	98.8
その他	—	—
合計	14,855,098	105.8

(注) 1. 金額は、販売価額によっております。

2. 上記の金額には、消費税は含まれておりません。

(2) 受注状況

製品の種類別区分	受注高（千円）	前年同期比（％）	受注残高（千円）	前年同期比（％）
集積回路	12,682,509	106.7	696,330	98.6
機能部品	1,428,640	94.9	384,523	97.9
受動部品	539,047	104.7	36,713	92.2
その他	83,064	168.1	—	—
合計	14,733,262	105.6	1,117,567	98.1

(注) 1. 金額は、販売価額によっております。

2. 上記の金額には、消費税は含まれておりません。

(3) 販売実績

製品の種類別区分	金額（千円）	構成比（％）	前年同期比（％）
集積回路	12,512,061	85.6	104.6
機能部品	1,470,801	10.1	88.1
受動部品	540,072	3.7	103.9
その他	83,064	0.6	168.1
合計	14,605,999	100.0	102.9

(注) 1. 上記の金額には、消費税は含まれておりません。

2. 従来、営業外収益に計上しておりました作業屑売却益を、第1四半期連結会計期間より売上高に計上する方法に変更したため、過去の四半期連結財務諸表の組替え後の数値で前年同期比を計算しております。